

那賀川源流碑開きで上下流交流を開催（那賀川河川事務所）

那賀川源流は「那賀川アフターフォーラム」のメンバーらによって、平成17年に剣山山系「ジロウギユウ（次郎笈）」を望む徳島県那賀郡那賀町木頭北川に定められ、同年、源流碑、源流モニュメントが設置されました。



この地において、平成29年4月22日（土）に「那賀川アフターフォーラム」主催、「ゆきかう那賀川推進会議」共催による「那賀川源流碑開き」が開催されました。

「那賀川源流碑開き」は那賀川流域におけるこの1年間の安全を祈願するとともに、上下流連携の促進を図るため、源流が特定された翌年の平成18年に始まり、今回で12回目を数えます。



当日は、午前中には雪が降りとても寒かったです。源流に向かう午後からは天候に恵まれ、那賀川下流域の大野小学校や上流域の相生小学校、小中一貫校として那賀町に誕生した木頭学園の児童・生徒など、約150名の参加のもと、源流碑及び源流モニュメント周辺の清掃活動や上下流域の子どもたちによる上下交流会の開催、小学生による那賀川源流の水質調査を行い、源流の水質がきれいな事を確認しました。木頭学園の中学生は木をシカの食害から守るための保護ネットを巻く作業を行いました。





サプライズゲストとして、阿南市と那賀町のゆるキャラ「あななん」と「ゆずばあちゃん」が登場し、子ども達に大人気でした！上下流交流会ではそれぞれに趣向を凝らした学校紹介や校歌斉唱を元気よく披露し、水質調査では源流まで汗を流し、源流のわき水を酌み合うなど、和気藹々とした雰囲気でした。記念写真を撮影し、ひとりひとりが那賀川への思いを巡らせていました。



那賀川河川事務所では、今後とも流域の活性化に向けて、地域の取り組みや上下流の連携・交流の促進を支援していききたいと思います。